



社団法人 日本電気協会

関東支部

THE JAPAN
ELECTRIC ASSOCIATION
KANTO BRANCH



<http://www.kandenkyo.jp>

沿革・概要

◆ 関東支部とは

明治 25 年 4 月、当時の東京電燈会社技師長藤岡市助らの提唱によって、創業早々の電気事業の順調な発展を期するため、「日本電燈協会」が発足し、関東支部の前身となりました。その後、明治 28 年 5 月に電燈協会は、「日本電気協会」と改称しました。

電力の需要は増加の一途をたどり、全国各地に電気事業が相次いで設立され、当時の日本電気協会（東京）、中央電気協会（大阪）、九州電気協会（福岡）の 3 地区電気協会は社会的要請により合同することとなり、大正 10 年に「社団法人電気協会」が設立されました。その後「社団法人大日本電気会」と改名しましたが、昭和 22 年に現在の「社団法人日本電気協会」本部と 9 地方協会（現在は沖縄を加え 10 支部）に改組され、地方協会の一つとして「関東電気協会」として再発足しました。

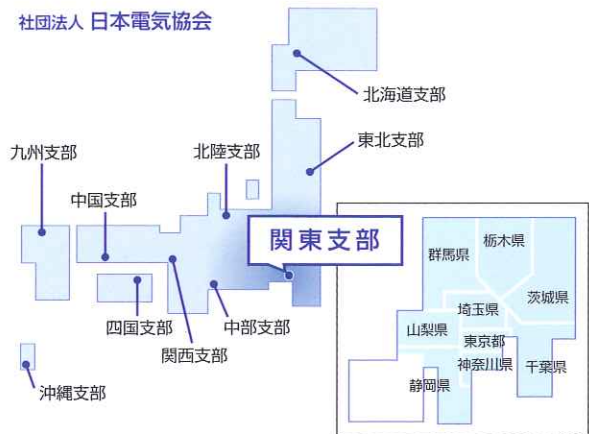
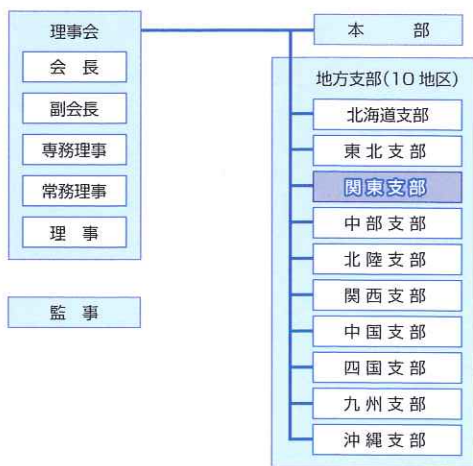
平成 23 年 4 月より組織の見直しにより、名称が「日本電気協会関東支部」となり、地方組織として関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県および静岡県の富士川以東）を所管し公益活動を推進しています。

◆ 組織

▶ 名称 社団法人 日本電気協会 関東支部
(THE JAPAN ELECTRIC ASSOCIATION KANTO BRANCH)

▶ 設立年月日 昭和 22 年 12 月 19 日

▶ 組織図 社団法人 日本電気協会機構図



▶ 役員

支部会長	下村 節宏(三菱電機株式会社 取締役会長)
支部副会長	村田 隆(東京電力株式会社 顧問)
運営委員	37名
会計幹事	2名
顧問	2名



下村 支部会長



村田 支部副会長

(H23.5 現在)

▶ 事務局構成 事務局長
総務グループ
キュービクルグループ
講習グループ
安全・合理化グループ

▶ 所在地 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル 北館 5 階

◆ 活動の概要

当支部は、電気関係事業の進歩発展、産業の振興、文化の進展に寄与することを目的として活動する日本電気協会の一員として、全国共通活動を展開するとともに、担当区域の特性に合わせた独自活動の取り組みも積極的に行っています。

- 電気に関する技術および経営等に関する情報の交換
- 電気技術者の育成
- 電気機械器具材料に関する推奨および認定
- 雑誌その他出版物の刊行
- 電気安全ならびに電気使用合理化の推進
- 会員相互の情報交換
- 電気知識の普及、啓発

◆ 入会案内

▶ 会員の種類

個人会員 個人会員は、本会の目的に賛同して入会する個人とする

法人会員 法人会員は、本会の目的に賛同して入会する法人又は団体（事業所を含む）とする

▶ 会員の特典

日本電気協会への入会により次の特典があります。

- 本部及び関東支部が主催する行事（総会、支部大会、賀詞交換会、電気記念日祝典、懇親会）等への参加により、会員相互の交流および情報交換の場を提供しています。
- 機関誌「電気協会報」を毎月無償でお届けし、電気関連産業界の動向、海外の電力動向、新技術開発等幅広く会員のお役に立つ情報を紹介しています。
- 「関東支部だより」の配付、ホームページの「会員ページ」の閲覧により、事業報告や最新の法令改正の概要や解説を掲載しています。
- タイムリーで有益なテーマを選定した会員講演会を実施しています。
- 話題性のある最新施設を見学し、会員の知見を広めることを目的とした施設見学会を実施しています。
- 電気技術者育成を目的とした各種講習会、セミナーを実施し、会員割引にて提供しています。
- 傘寿功労者および従業員功績者表彰など電気の発展に功績のあった方への顕彰制度があります。

▶ 入会金および会費

入会金 個人会員 3,000円 法人会員 10,000円

会費 個人会員および法人会員の会費額は一事業年度につき1口 10,000円からとし、会員の議決権数は、会費1口につき1票となります。

▶ 入会手続き

所定の入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金・会費を添えてお申込み下さい。

入会資料のご請求、お問い合わせ等は総務グループ(TEL:03-3213-1757)までご連絡下さい。

◆ ホームページ

関東支部案内、出版物、講習会・セミナー等の紹介や案内の詳細はホームページをご覧ください。

講習会・セミナー等の申込みや書籍・ビデオ等の購入申込みもホームページから行うことができます。

また、会員ページでは「支部のお知らせ」「法令情報」等最新のトピックス情報の提供や会員との情報交換も行っています。

■ ホームページのご案内 <http://www.kandenkyo.jp>

行 事

◆ 支部大会

毎年5月に開催し、関東支部の前年度事業報告および会計報告、翌年度事業計画および予算の説明、重要事項の報告を行っています。関連行事として著名な講師を招き記念講演会を開催するとともに、その後の懇親会において会員相互の交流を深めています。

◆ 新年賀詞交歓会

毎年1月初旬に、(社)日本電気協会及び(社)電気倶楽部との共催による、会員企業のトップ層も参加される新年挨拶の会として、1,300名を超える方々が集います。



◆ 電気記念日祝典

明治11年(1878)3月25日、東京・虎ノ門の工部大学校においてデュボスク式アーク灯による「あかり」が公の場で初めて点灯され、この日を「電気記念日」(昭和3年に制定)と定めました。毎年「電気記念日」を祝し式典を開催し、傘寿功労者ならびに電気関係功績者の表彰式、記念講演会、パーティ等の行事を行っています。



◆ 会員講演会および見学会

最近の課題をテーマにした講演会の開催、最新技術を駆使した電気関係施設や最先端の研究施設等の見学会を開催し、電気関係知識の普及と会員相互の情報交換を図っています。



表 彰

◆ 傘寿功労者

電気関係事業の発展に功労のあった会員および会員企業の関係者で満80歳を迎えられた方々を毎年電気記念日に顕彰しています。



◆ 電気関係従業員功績者

会員企業の従業員の方々を対象に、下記表彰制度を設け、毎年電気記念日に表彰しています。

- ・電気関係事業満30年従事者表彰
- ・考案表彰(電気に関し有益な発明・発見・工夫・考案、または改良をなし、その効果の大きであったもの)



◆ 澁澤賞

電気の保安について有意義な発明・工夫・設計・施工を行った個人・グループ、電気技術規格・基準の制改定、学術研究、人材育成ならびに電気の保安確保に関して顕著な功労のあった個人の功績を顕彰するために制定された、民間で唯一の電気保安関係表彰。当支部では毎年、会員企業および関係機関から推薦を募り、澁澤元治博士文化功労者受賞記念事業委員会へ推薦しています。



◆ 栄 典

電力関係事業に係わる叙勲・褒章の候補者について資源エネルギー庁(関東経済産業局資源エネルギー環境部経由)に対する推薦機関として、一連の関連業務を行っています。

機器認定

◆ 優良電気設備の推奨・認定

自家用需要家受電設備の保安確保および電気事業者配電線への波及事故防止、ならびに火災時における消防用設備への非常電源の確保等、信頼性の高い電気設備の普及を図るために設けられた制度です。

▶ キュービクル式高圧受電設備の推奨

日本電気協会制定の推奨規約に基づき、関東支部で書類審査・現場審査を行った後、日本電気協会の推奨委員会で最終審査を行い、審査に合格した機種に推奨銘板を発行します。



▶ キュービクル式非常電源専用受電設備の認定

消防庁登録認定機関として、日本電気協会制定の認定規約に基づき、関東支部で書類審査・現場審査を行った後、日本電気協会の認定委員会で最終審査を行い、審査に合格した機種に、認定銘板を発行します。



電気技術者育成講習会

◆ 一般講習会

電気に関する法令・民間規格の解説、電気技術・知識の向上、資格取得、労働安全・現場実務など、電気技術者の育成を目的とした各種講習会を開催しています。

▶ 各種民間規格講習会

内線規程、高圧受電設備規程、自家用電気工作物保安管理規程、系統連系規程 など

▶ 各種技術講習会

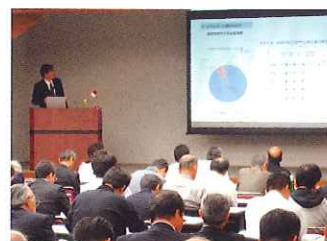
電気設備の技術基準・解釈講習会、系統現象・保護協調講習会、電気設備管理セミナー など

▶ 試験準備講習会

第二種電気工事士(筆記・技能) など

▶ 労働安全衛生講習会

低圧電気取扱者に対する労働安全衛生特別教育、
高圧・特別高圧電気取扱者に対する労働安全衛生特別教育、
職長教育・安全衛生責任者教育 など



◆ 技術・技能認定講習会

工事施工者の技術・技能を習得するための講習会で、所定の技能の修了認定者には認定証を交付します。

▶ 高圧ケーブル工事技能認定講習会

▶ 地中線用 GR 付高圧負荷開閉器施工技術認定講習会

認定番号 第 _____ 号	
高圧ケーブル工事技能認定証	
氏名	_____
生年月日	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
交付年月日	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
(社)日本電気協会 関東支部 支部会長 下村 節 宏	

◆ 法定講習会

▶ 第一種電気工事士定期講習

独立行政法人 製品評価技術基盤機構から講習の実施に関する事務を受託して関東地区 1 都 7 県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県)を担当し、受講申込書の受付と講習会の実施を行っています。

▶ 認定電気工事従事者認定講習

財団法人電気工事技術講習センターから講習の実施に関する事務を受託して、関東地区における講習会の実施を行っています。

出版

◆「電力・工事マンスリー」月刊誌

自家用電気工作物施設(ビル、工場等)の電気の保守・管理者および電気工事従事者を対象に電気の効率的な使い方や電気の安全管理に役立つ事例、電気関連法令の解説、新しい屋内外電気施工技術の解説と実施例、新技術、新製品等を紹介しています。

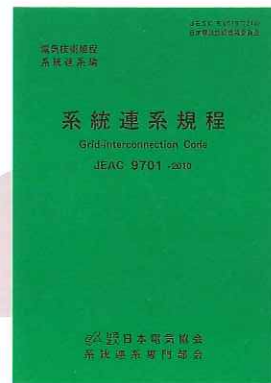
外部有識者による編集委員会を「電力部門」、「工事部門」に分け実施し、読者のニーズに合致した記事掲載に努めています。関東経済産業局、関東東北産業保安監督部、東京電力様の協力を得て、毎月タイムリーな情報を掲載しています。



A4 版約 24 頁

◆日本電気協会発行書籍の販売

日本電気協会が発行する電気設備・電気用品の保安に関する書籍(内線規程・電気設備の技術基準とその解釈・電気用品安全法関係法令集等)、電気技術の規程・指針、電気技術者の育成教材などの出版物を販売しています。



電気遺産調査活動

◆関東地方「電気ゆかりの地」の調査

関東地方には、3月25日の電気記念日の由来となった日本で初めて電気が点灯した東京・虎ノ門の「工部大学の講堂」や一般の人が見た初めての電気のひかりである「東京銀座通電気燈」など電気の発祥・普及の原点となった数々の電気ゆかりの地があります。

当支部では、こうした電気の発祥・普及の地の現状を調査し、リーフレットとしてまとめ、現代やその地域の皆さんに当時の役割を含めて紹介する活動に取り組んでいます。

リーフレット化した地点

NO.	調査地点	NO.	調査地点
1	日本で初めて電気の光が灯ったところ 「工部大学の講堂」	11	わが国初の電気機器製造会社「三吉工場」
2	一般の人が見た初めての電気のひかり 「東京銀座通電気燈」	12	わが国初の通信機器メーカー「明工舎」
3	日本初の電動エレベーター「浅草凌雲閣」	13	電線製造黎明期の専門メーカー「山田電線製造所」
4	日本初の電気事業会社開業の地「霊巖島富島町」	14	わが国の電線製造黎明期のメーカー「藤倉電線所」
5	電気事業開業時の5箇所の発電所「電燈局」	15	小形三相誘導電動機の標準化「明電舎」
6	日本初の配電線による電灯供給「第2電燈局」	16	神奈川県初の配電線による電灯供給 「常盤町火力発電所」
7	銀座の電灯供給の始まり「第3電燈局」	17	栃木県初の配電線による電灯供給「日光発電所」
8	初めての営業用白熱点灯の「鹿鳴館」	18	群馬県初の配電線による電灯供給「植野発電所」
9	わが国初の電信機工場「田中工場」	19	静岡県初の配電線による電灯供給「熱海発電所」
10	初めての白熱電球製造「白熱舎」		



委員会活動

◆ 電気安全関東委員会

関東地区における電気事故防止・安全向上施策の実施、電気安全知識の普及・啓発を、官・民が協力して行う目的で昭和31年6月に設立され、以来時代にあわせた電気安全活動を展開しています。

▶ 経済産業省主唱「電気使用安全月間」(8月)の活動

その年の活動テーマにそったポスターや「電気安全点検100項目」の発行・頒布、事故防止対策の周知等の活動を行っています。

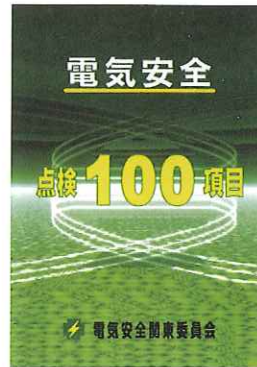
▶ 電気安全表彰

電気安全の確保・向上に顕著な功績があった自家用電気施設者、電気工事業者、個人、団体を毎年表彰しています。

また、特に功績のあった事業所や個人に対し、原子力安全・保安院長表彰・経済産業大臣表彰への推薦を行っています。

▶ 電気安全に関する相談

電気安全に関する消費者からの相談を受け、事故原因の調査・究明等を行っています。



◆ 関東地区電気使用合理化委員会

昭和27年に戦後の電力不足を背景に、「電気使用合理化の普及・促進」を目的として、日本電気協会が提唱した「電力は国の宝」運動推進のために設立し、自家用需要家、電気事業者、電気関係団体、関係官庁など幅広い委員で構成され、電力の有効利用や総合的な省エネルギーの普及・促進・PR等、広範な活動を行っています。

▶ 電気使用合理化セミナー

電気の合理的使用に関する諸方策や技術を幅広く紹介するため、年2回、その時々にあふさわしいテーマを取り上げて開催しています。

▶ 電気使用合理化表彰

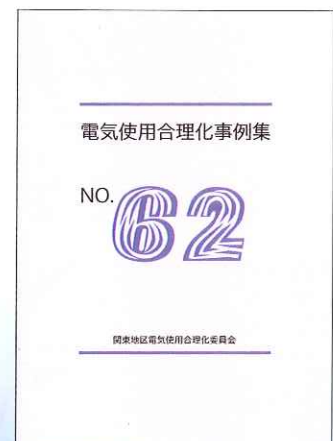
電気使用合理化の成果が顕著な自家用需要家とその推進に顕著な功績のあった工場・事業場及び個人の表彰を毎年行っています。

▶ 電気使用合理化実施事例集の発行

関東経済産業局長賞を受賞された優秀事業場等の電気使用合理化実施事例等を収録した事例集を配付しています。

▶ 省エネルギーコンサルト

企業の依頼により専門家を派遣し、省エネルギー診断・改善のアドバイスを行っています。





■アクセス

JR有楽町駅 日比谷口から徒歩1分
 東京メトロ日比谷線・千代田線・都営三田線 日比谷駅から徒歩2分
 東京メトロ有楽町線 有楽町駅から徒歩2分
 〒100-0006
 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル 北館5階

ホームページのご案内

支部案内、出版物、講習会・セミナー等の詳細はホームページ
 をご覧ください。

<http://www.kandenkyo.jp>

総務グループ

TEL 03-3213-1757 FAX 03-3213-1747

総務(出版)グループ

TEL 03-3213-1760 FAX 03-3213-1746

キュービクルグループ

TEL 03-3213-1674 FAX 03-3213-1746

安全・合理化グループ

TEL 03-3213-1676 FAX 03-3213-1746

講習グループ(一般講習)

TEL 03-3213-1737 FAX 03-3213-1746

講習グループ(法定講習)

TEL 03-3213-1759 FAX 03-3213-1746



社団法人 日本電気協会
 THE JAPAN ELECTRIC ASSOCIATION KANTO BRANCH

関東支部